

令和8年度

一般社団法人 地域商社あきおおた



AKIOTAKARA

あきおおたから

ふれて、心に残るもの

事業計画

地域商社あきおおた 事業本部 作成

令和8年3月

一般社団法人地域商社あきおおた 令和8年度事業計画

1 要旨

安芸太田町総合ビジョンの柱である、「未来に向けて一人一人が活躍するまち」を目指し、太田川上流域の暮らしや歴史・自然を活かした取組みを進める。

特に、新生「道の駅来夢とごうち」のハード面の整備が進む中、地域の宝をさらに掘り起こし、作り手と消費者をつなぎ、人の流れを加速させるソフト面の強化を図る。

道の駅再整備による施設面の制約が見込まれる中においても、お客様が笑顔になる心のこもったおもてなしを実施するため、町内事業者及び地域の皆様の協力を仰ぎ、お客様が不便を感じることはないよう知恵を出し合い工夫していく。

仮店舗営業となる太田川産直市の出荷数量、出荷者ならびに売上増を目標とした施策の展開や、地域商社として、新商品の開発、新規顧客の獲得ならびに町外販路開拓などにより物販や体験事業の強化・拡大を行う。また、地域DMOとして町の魅力発信による認知度向上ならびに来訪購買意欲向上による誘客数増加をさらに図り、町の重点事業である新道の駅開業を見据えた準備を押し進める。

合わせて、物価高騰などの影響により「コスト増加」「買い控え」などが避けられない厳しい経営状況を乗り切るため業務の効率化をはかる。

2 事業概要

安芸太田町ヘルスツーリズム推進協議会として、安芸太田町総合ビジョンの『重点方針②人づくりの推進 - 2 地域資源を活かした産業の担い手育成』に掲げてある森林セラピーやウォーターアクティビティ等のガイド等の育成を推進し、地域の魅力を伝える人づくり・担い手育成に取り組み、体験型観光の更なる拡大を目指す。

また、健康経営を目指して従業員へ健康投資を行う企業や健康保険組合等への提案営業を強化し、企業や団体等による体験者数拡大を図る。

更に、町内宿泊事業者等との連携により町内宿泊者の増加とともに町内滞在時間拡大による観光消費額の増加に繋げる。

10月には8つのセラピー基地のガイドや事務局が集う『森林セラピー基地中国四国ブロック研修会』の開催地に安芸太田町が予定されているため、あきおおた里山ガイド会と協力し万全の態勢で受入を行う。

体験型観光においては、新たな体験コンテンツの造成と受入数増加に対応した運営体制の構築をはかり、新規体験者の増加とリピーター獲得に向けた施策を実施する。

安芸太田町田舎体験推進協議会の事務局として、5月には台湾の中学生の民泊受け入れが予定されており、これを契機にインバウンド教育旅行民泊の実績を積み上げ、今後の受入拡大の足掛かりとする。

営業の強化をはかりインバウンド関連の商談会に積極的に参加するとともに、ホームページの教育旅行に関するページを更新し、最新の情報が入手できるようにする。

合せて、継続的に新規受入家庭の開拓を推進する。

地域DMOとして、道の駅再整備後に必須となるソフト面の強化を図るため、計画的に各種施策を実施していく。

観光情報の入手手段である町の公式観光ホームページ「あきおおたから」の見直し更新を逐次行い、掲載内容の充実を図りより多くの人々に地域の魅力が伝わるようにする。

地域の事業者の稼ぐ力を引き出すためのCRMシステムを活用し、コアなファン作りとリピート率の向上による観光消費額の増加を目指す。

観光パンフレット等の改訂増刷を実施のうえ町内外の主要箇所への配架を推進するとともに、広島駅ビルDoTs 安芸太田 WEEK 出店や地上波テレビの情報番組等での紹介などを通じて、認知度向上、興味関心並びに来訪意欲を高める。

地域資源に興味関心を持ち、連携や協力を検討している関係官庁や各種企業・団体、学校などに対して継続的な提案営業を更に強化し実現に繋げる。

道の駅売店・物販事業においては、仮店舗にて隣接営業する太田川産直市生産組合と連携・協議し、新道の駅での営業・経営の新体制の構築に向けた準備を進める。

同時に、SPC事業者との連携を加速させ、新道の駅の営業開始時を想定した新規仕入商品や新開発商品の導入、販売体制構築などを他の出店事業者とともに取り組み、町の魅力に“惚れさせる”「ショールーム」を目指す。

また、継続的に委託・卸販売先の新規開拓営業や既存先への取引拡大営業等により販売額の増加を目指す。

3 主要事業（公益事業：〔公益〕、収益事業：〔収益〕）

（1） 〔公益〕安芸太田町ヘルスツーリズム推進協議会 人材育成【1,800千円】

●ガイド・インストラクターの人材育成（1,800千円）

町総合ビジョン重点方針「人づくりの推進」に掲げてある地域資源を活かした産業の担い手育成の取組として森林セラピーやアクティビティガイド等の人材育成に注力する。

セラピスト認定、ウォーター資格取得のための受験料等を助成することで、より専門的な知識取得や技術向上を目指す意欲を高める。

●令和8年度森林セラピー基地中国四国ブロック合同研修会開催

7年度開催地の高知県津野町から引継ぎ、セラピー基地中国四国ブロック合同研修会開催地としてあきおおた里山ガイド会と一体となって受入を行う。

そのためガイド用のウェア整備、リーフレット・チラシ等改訂・印刷し「森林セラピーのまち安芸太田」全面にPRを押し進める。

●新規体験コンテンツ造成と運営体制の構築

体験コンテンツの新規造成の企画内容・運営体制の構築等を検証し、地域資源を活かしたパックラフトやリバーSUP、サーフィン等の実現と合わせて、町内の滞在

時間を延ばす取り組みとして宿泊とセットで安芸太田町ならではの田舎(生活)体験や食事が可能となるよう町内各団体や事業者と連携を図る。

●**ホームページの予約プラットフォーム化**

営業時間外でも24時間、体験メニューの予約受付ができ、クレジットカードや各種キャッシュレス決済による事前支払を可能にし、無断キャンセルや直前キャンセル対応ならびに体験時の現金管理等、会計業務の簡素化に取り組む。

●**新規体験者増加施策とリピーター獲得に向けた基盤作り**

町内外でのイベントの定期的開催や出店による個人客への認知拡大と団体顧客獲得に向け、法人や学生団体、健康保険組合等への提案営業をさらに強化し、また、リピーター獲得に向け、回数券や会員プラン導入の検討を行う。

(2) **〔公益〕安芸太田町田舎体験推進協議会**

5月の台湾中学生の民泊受け入れによるインバウンド教育旅行民泊の実績を積み上げ、今後の受入拡大に繋げる。

さらに国内外多くの人々に安芸太田町の魅力を体験し、ファンを増やす取り組みとなるよう持続的な受入のため民泊家庭数の維持と新規受入家庭の開拓を推進する。

また、引き続き広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会や Jenesys (Japan-East Asia Network of Exchange for Students and Youths:外務省が推進する対日理解促進交流プログラム) 等と連携した民泊体験の受入を実施すると同時に、新規エリアからの受入を目指し営業を強化する。

(3) **〔公益〕観光DMO【事業費合計6,200千円】**

●**観光DMO事業推進**

道の駅再整備のハード整備事業と並行して必須となるソフト面の強化を図ることで、町総合ビジョンの新生「道の駅来夢とごうち」を核とした観光まちづくりの推進を図る。

令和7年度益田市DMO等を巻き込み石見交通191号線グリーンシャワー号復活の取組を実施した。令和8年度も各省庁等の補助事業活用を模索し、関係する企業・団体と連携を強化し引き続き路線維持に向けた取り組みを実施する。

最終年である3年目を迎える環境省の地域循環共生圏づくり支援体制構築事業は、地域資源を活用して環境・経済・社会を良くしていく事業の創出に向けて実証を行う。

また、令和6年度の本事業によって構築した「森ラボ安芸太田(=継続的な事業創出の基盤となる地域プラットフォーム)」が、補助事業終了後も持続可能となるための仕組みを構築していく。

●**観光パンフレット・チラシによる情報発信 (2,380千円)**

町内外の観光情報の要所へパンフレット等の継続配架を可能とするため、来訪客に好評な「あきおおたから」「森羅万象」「三段峡散策マップ」について改訂・増刷を実

施するとともに、情報発信力をより強化するため、公式観光ホームページとリンクさせ、さらなる地域の魅力を発信する。

●**新広島駅ビル「mioby D o T S」活用** (1,650 千円)

令和7年度に続き、県内市町が参画している、県内外から注目度の高い広島駅ビル内のD o T s 活用を継続実施し、県内各地や広島市内などの近隣地域における認知度向上と興味関心ならびに来訪意欲を高めていく。

《R7 安芸太田 WEEK 6 日間のミナモア来場者 52 万人、D o T s 来店者 3 万人、地上波テレビでの複数回の告知紹介(広告効果 560 万円)、特産品販売 72 万円、レストラン特産品メニュー売上 39 万円効果実績有》

●**CRMシステム活用** (2,050 千円)

地域の事業者の稼ぐ力を引き出すためCRMシステムを活用し、コアなファン作りとリピート率の向上による観光消費額の増加を目指す。

(4) 〔収益〕道の駅売店・物販事業の売上向上と太田川産直市のさらなる拡大支援

●**太田川産直市の拡大支援**

新道の駅での営業・経営の新体制の構築に向けて、太田川産直市生産組合と連携協議し準備を進める。

仮店舗営業となる太田川産直市の販売体制を強化し、町の重点事業である売上・出荷数、出荷者増を目標とした活性化事業に注力する。

●**特産品開発と新規取扱商品導入**

継続して新商品開発および商品リニューアルを実施する。また、新規仕入先の開拓により既存の商品ラインナップに無い取扱商品を拡充し売上向上を図る。

●**ECサイト・発送関係売上拡大**

自社 EC サイト整備、商品ラインナップの拡充を行う。郵便局ふるさと小包を強化し売上の拡大を図る。

●**販路拡大**

継続して町内外の各種施設やホテル、飲食店小売店等への営業を強化し、町内特産品の委託・卸販売を拡大する。

●**出店事業の強化**

売れ筋商品を予測したうえで町内外のイベントや商業施設等への出店を強化し、売上の向上と共に安芸太田町、道の駅来夢とごうち、地域特産品等の認知度向上とリピート購買を目指す。

4 事業別目標計画

(1) 体験型観光事業

事業名	R 5 実績	R 6 実績	R 7 (見込)	R 8 (計画)
森林セラピー (人)	107	185	238	275
観光ガイド (人)	377	301	461	450
ウォーターアクティビティ (人)	231	491	772	800
スノーアクティビティ (人)	33	72	85	140
合 計 (人)	748	1,049	1,556	1,665

(2) 田舎体験事業 (教育旅行受入)

項目	R 5 実績	R 6 実績	R 7 (見込)	R 8 (計画)
受入団体数 (団体)	19	19	16	12
来町体験者数 (人)	927	928	760	1,050
延べ民泊数 (泊)	11	15	13	12
延べ民泊人数 (人泊)	336	542	408	413
延べ受入家庭数 (家庭)	105	183	155	150

(3) 道の駅売店・物販・太田川産直市支援事業

事業名	R 5 実績	R 6 実績	R 7 (見込)	R 8 (計画)
道の駅販売額 (千円)	56,666	60,049	62,800	68,000
EC・発送 (千円)	5,352	2,904	3,400	4,500
ふるさと納税返礼品 (千円)	8,612	9,496	10,600	10,000
産直市販売額 (千円)	41,394	46,493	51,759	63,000
合 計 (千円)	112,024	118,942	128,559	145,500

5 財政計画等の見込み

種 別		R 5 決算	R 6 決算	R 7 (見込)	R 8 (計画)
総収益 (千円) (a)		162,926	183,770	179,483	185,462
総支出 (千円) (b)		159,552	181,805	179,013	196,678
総収支 (千円) (c = a - b)		3,374	1,965	470	▲11,216
町運営交付金 (千円) (d)		48,000	45,000	18,151	17,984
町補助金他 (千円) (e)		16,983	15,750	43,163	44,763
町交付金補助金合計 (千円) (d + e)		64,983	60,750	61,314	62,747
組織体制 (4/1 時点) (人)	正規職員	6	6	8	9
	町から出向	2	2	3	2
	協力隊	2	2	1	0
	パート	3	4	4	3
	参与	1	1	1	1
	計	14	15	17	15